あ　い　さ　つ

宇都宮市立上河内中学校長　西原　良一

本校での勤務が３年目となりました、校長の西原です。

これまでの２年間、私なりに本校の教育活動の充実・改善に努めてまいりましたが、皆様にはその取組に対して、ご理解とご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、今年度も８０名の新入生を迎え、全校生徒は２４２名となりました。久しぶりに全学年が３学級となり、運動会は３色対抗となる予定で、今から楽しみです。

教職員は様々な立場の者も含めて、２７名ですから、学校全体として２６９名が、平成最後となる３１年度、そして、間もなく令和元年と改元される１年間を上河内中学校の一員として過ごしていくことになります。

今回も年度最初の職員会議で、教職員には、昨年度に引き続き、次の４つのことに力を注いでもらいたい旨を示しました。

○　確かな学力を身に付けさせるためのしっかりとした学業指導
○　自己有用感や相互尊重精神の育成・規範意識の定着
○　健康と安全を意識した生活
○　社会・地域の一員としての自覚の育成

そして、生徒に対しては、始業式と入学式において次の３つのことを意識して、行動するように話しました。是非、子どもたちには実行してほしいと思っています。

○　各自が目標を持ち、その実現に向けて粘り強く取り組む。
○　言葉の持つ力を意識して、言葉を使う。
○　他の人に嫌な思いをさせないことを心がける。

最後になりますが、私自身どのようにこの１年間を過ごそうと考えているかというと、本校の教職員、保護者や地域の皆様のご理解とご支援をいただきながら、校長としての責務を果たし、子どもたちの成長と本校の発展に、微力ながら精一杯取り組んでいきたいと考えています。

教師はロウソクのようなもの。
みずからを燃やしつくして、生徒を照らす（啓発する）

これは、教師となった時から、自らの信条としてきたルーフィニィの言葉ですが、最後の１年、完全燃焼をめざします。

※　「学校経営方針」の詳細は、本ホームページの【学校概要】のページに掲載しており、学校の様子等もこまめに更新しておりますので、是非、これからも、ホームページをご覧ください。